

ポストバブル・ 事業モデルの先駆け

都市デザインシステムの挑戦

コーポラティブハウス50周年記念イベント

コーポラティブの

これまでと

これから

梶原文生
天宅毅
石川修詞
丹野敏昭
村島正彦

都市デザインシステム創業者

CUBE 代表取締役

コーポラティブハウス全国推進協議会理事長

K.U.T.都市建築研究室代表取締役

コーポラティブハウス全国推進協議会副理事長

#1

全6回

2022.2.22 / 19:00-21:00

¥3000 (全6回)

わが国最初の コーポラティブハウス

千駄ヶ谷コーポラティブハウス
1968年・4戸・渋谷区
山下和正

●OHP.No.1
1974年・6戸・杉並区

●コーポラティブハウス柿生
1975年・65戸・川崎市
サンケイハウジングセンター

●コープ水道社
1976年・4戸・世田谷区
DAN建築設計事務所

●堂の楯フレッシュタウン
1977年・16戸・町田市
自主建設促進協会

●コーポ高橋
1978年・44戸・日野市
集住協

住まい手による「発明」

官公による マスメハウジングからの脱却

●ヴェルデ秋葉台
1990年・116戸・多摩市
都住宅供給公社+現代計画研究所

●アースヒルズ
1992年・118戸・神戸市
住都都市整備公団+COM計画研究所

●コープタウン松が谷
1984年・7棟142戸・多摩市
東京都住宅供給公社

●ノボ由木坂
1993年・252戸・多摩市
都住宅供給公社

●あじろぎ横丁
1993年・17戸・京都市
居住者集団+京都建築研究所

●Mポート
1992年・16戸・熊本市
津浦もやい住宅+延藤安弘

●ユークコート
1985年・48戸・京都市
家づくりの会+延藤安弘

●コミュニティコーあるじゅ
1993年・13戸・葛飾区
象地域設計

●つなね
2000年・23戸・奈良市
つなね建設組合+VANS

●経営の杜
2000年・12戸・世田谷区
チームネット

●コーハウス喜多見
1998年・14戸・世田谷区
喜多見コーポラティブハウス建設組合

●みんなの家
2006年・7戸・横浜市

●きのかの家
2006年・30戸・町田市
アンビエックス

●たつのこビル龍ヶ崎シニア村
2007年・29戸・龍ヶ崎市

●中崎吉町コーポラティブ住宅
2007年・6戸・岡山市
VANS

●山長長屋
2010年・4戸・相模原市
ビオフォルム環境デザイン室

住まい手主導のコーポラティブ

●マインズ新芦屋
2012年・7戸・吹田市
VANS

●リノア元住吉
2011年・24戸・川崎市

●求道学園リノベーション
2007年・11戸・文京区
リビタ
アークブレイン+集住会

●リノア北赤羽
2021年・147戸・北区
リビタ

コーポラティブによるリノベーション

●都住創松屋町住宅
1977年・19戸・大阪市
都住創

●都住創藤井町
1982年・17戸・大阪市
都住創+ヘキサ

●都住創スハイヤー
1987年・10戸・大阪市
都住創+ヘキサ

●COMS HOUSE
2002年・11戸・千代田区
としまち研

●スクワー見樹院
2010年・16戸・文京区
アンビエックス+としまち研

●岩井町セブン
1978年・9戸・大阪市
都住創

●都住創石町
1983年・16戸・大阪市
都住創+ヘキサ

●都住創北山町
1988年・10戸・大阪市
都住創+ヘキサ

●都住創カレンズ
2000年・12戸・大阪市
としまち研

●西麻布CO-HOUSE
2005年・21戸・港区
としまち研

●こぼす
2012年・17戸・千代田区
としまち研

●コープ内平野
1979年・19戸・大阪市
都住創

●都住創森ノ宮
1984年・7戸・大阪市
都住創+ヘキサ

●都住創ラスティック
1991年・10戸・新宿区
都住創+原研吾

●都住創大手前
2001年・49戸・大阪市

●九段千鳥ヶ淵テラス
2014年・24戸・千代田区
としまち研

都心に住む

●大岡山ハウス
1995年・14戸・目黒区
都市デザインシステム

●松濤コートハウス
2001年・6戸・渋谷区
アーキネット

●コートハウス
2007年・27戸・北区
象地域設計+としまち研
タウンクリエイション+コプラス

●OGGI
2012年・19戸・杉並区
タウンクリエイション+コプラス

●MEGURO HAUS
2020年・9戸・目黒区
NENGO+トライクコンサルテイング

●吉祥寺ハウス
1995年・8戸・武蔵野市
都市デザインシステム

●J-alley
2001年・11戸・目黒区
ゼロワンオフィス

●三田伊皿子坂ハウス
2012年・16戸・港区
コプラス

●a-blanc
2015年・13戸・世田谷区
ゼロワンオフィス

●Liversa
2018年・14戸・世田谷区
タウンクリエイション

●スクウェア六甲
1999年・12戸・神戸市
キューブ

●O-CUBE
2003年・19戸・杉並区
としまち研+タウンクリエイション

●tradica
2011年・11戸・武蔵野市
タウンクリエイション
ゼロワンオフィス

●HANEGI
2019年・10戸・世田谷区
NENGO+トライクコンサルテイング

●テイクセット湯が森(被災建替え)
1998年・7戸・神戸市

●現代長屋TEN
2003年・10戸・大阪市
CASEまちづくり研究所

●なな彩コーポ
2015年・7戸・京都市
もえぎ設計

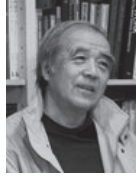
●宇多野コーポラティブハウス
2010年・13戸・京都市
キューブ

企画者主導・ビジネスモデル

コーポラティブハウス 50年の系譜



村島正彦：都市計画コンサルタント事務所勤務を経て二〇〇四年(株)studoarangoを設立。「経営の杜」管理組合理事長。著書に「自分スタイルの住まいづくり」コーポラティブハウス体験記」など。コーポラティブハウス全国推進協議会副理事長。一九六七年生まれ。



丹野敏昭：一九七九年(株)ZCO(都市建築研究室)を設立。一九九五年より都市デザインZCOコーポラティブハウス全国推進協議会理事長(公社)東京共同住宅協会会長、東京都耐震化推進市民会議委員。一九六八年生まれ。



石川修詞：創業初期の都市デザインシステムを経て二〇〇〇年(株)タウンス・クリエーションを設立。現在もコーポラティブハウスを継続。ZCOコーポラティブハウス全国推進協議会理事長(公社)東京共同住宅協会会長、東京都耐震化推進市民会議委員。一九六八年生まれ。



天宅毅：大手不動産ディベロッパーを経て一九九六年(株)CUBEを設立。阪神淡路大震災の復興でコーポラティブハウスを採用し、現在もコーポラティブハウスを継続。事業を通じて定期借地やテラスハウス、一団地等様々な可能性を探る。一九六四年生まれ。



梶原文生：大手不動産ディベロッパーを経て一九九二年、株式会社都市デザインシステム(現ZCO)を設立。コーポラティブハウスでは事業モデルを確立し、その後商業施設へと事業を展開。二〇二〇年ZCOを継承。東北大学大学院工学研究科非常勤講師。一九六五年生まれ。

●登壇者紹介

コーポラティブの これまでとこれから #1 ポストバブル・事業モデルの先駆け ―都市デザインシステムの挑戦―

90年代初頭のバブル崩壊は、日本の不動産市場の分水嶺と言ってよいだろう。令和のいま、人々の多様な価値感に対応するオルタナティブな不動産事業が展開されている。こうした気運にビジネスとして先鞭を付けたのが92年に創業した「都市デザインシステム」だ。コーポラティブ事業を皮切りにした挑戦を振り返る。

第一回：ポストバブル・事業モデルの先駆け
都市デザインシステムの挑戦

第二回：郊外マスメハウジングから参加型の模索
コープ協&公社 八団によるコーポラティブハウス

第三回：都市居住のこだわりと実践
手段としてコーポラティブ

第四回：多様な住まい方への展開
シェアハウス・コネクティブハウス・CO賃貸

第五回：日本のコーポラティブハウス半世紀
実践者が語るいまとこれから

第六回：これからのコーポラティブ思考の可能性
住まい・まちづくり・コミュニティ

※Peatsにてお申し込みとなります。

料金：三〇〇〇円(全6回)

詳細：http://coopkyo.gr.jp/



●コーポラティブハウス全国推進協議会について

ZCOコーポラティブハウス全国推進協議会(愛称…コープ協)は、良質な住まいと誰もが安心して暮らせる良好なコミュニティや住環境を実現するために、「コーポラティブ方式」による「住民参加の住まい・まちづくり」の普及推進を図ることを目的に、一九七八年に設立されました。建築家、事業コーディネーター、金融関係者、研究者など、コーポラティブハウスに関わる事業分野の実務家・研究者が中心となり、凡そ40年にわたり、「コーポラティブ方式」を通じて、住まい手が主体となった住まい・まちづくりを支援し、その普及を推進しています。

●お問い合わせ

ZCOコーポラティブハウス全国推進協議会事務局
東京都千代田区神田東松町33 COMS HOUSE 2F
03-6206-4538 / mail@coopkyo.gr.jp